

第3回製薬スキルアップセミナーのご案内

【主催】 滋賀県健康医療福祉部薬務課・一般社団法人滋賀県製薬協会

【共催】 滋賀製薬技術者会

■ ご案内

平素は、本県の薬務行政の推進のために格別の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、製薬等技術の向上支援事業の一環として標記セミナーを以下のとおり開催しますのでお知らせします。

つきましては、貴社から参加を希望される場合は、次ページのURLまたは二次元バーコードからお申し込みをお願いします。

■ 開催日時

令和6年3月15日（金） 13:30～16:30

■ 日程

●第1部：13:30～14:30

テーマ：「バイエル薬品（株）継続的改善活動の事例紹介」

バイエル薬品株式会社 プロダクトサプライジャパン本部 竹之内 力 先生
岩尾 彬広 先生
鳥居 若菜 先生

【要旨】

①半自動包装ライン 稼働安定化の取り組み

バイエル薬品滋賀工場では、輸入したPTPシートを半自動包装ラインで包装しています。この包装ラインでは機械トラブルが多発していたが、そのトラブルに対して作業員自らが様々な改善に取り組みました。そのライン安定化実現までの活動を紹介します。

②打錠工程における無人運転の実現と安定稼働に向けた取り組み

固形製剤/打錠工程では作業員を配置していない間もラインが自動稼働する無人運転を実施しており、生産キャパシティの最大化に貢献することができています。

この無人運転による効率化と高い品質の両立を実現するためのラインコンセプト、およびチョコ停削減による安定稼働と無人運転の成功率向上を目的とした改善活動の取り組みについて事例を交えてご紹介します。

③品質管理ラボの現場ウォーク活動

サイトクオリティ/品質管理ではミスを低減し、作業効率を向上させ、品質レベルを高めるため、作業員目線でのQCラボの現場ウォーク活動を実施しています。この活動ではGMP・HSE・5Sの各観点で自部署・他部署のラボを相互に確認し合い、得られた確認事項の改善やベストプラクティスの共有、チーム間の運用差異の低減によりクリーンな状態を保つことに貢献しています。今回は当活動の一例を交えながら成果について紹介します。

●第2部：14:30～15:00

(1)「稼働率向上への取り組み」

ジェイドルフ製薬株式会社 土山工場 生産本部 堀 和美 先生
青木 宏樹 先生
谷口 昌紀 先生
藤澤 祐一 先生
河合 裕也 先生

(2)「ボトムアップ型改善活動のご紹介」

クオリテックファーマ株式会社 滋賀工場 品質管理課 黒田 真由美 先生

●第3部：15：15～16：30

(1)「第十八改正日本薬局方第二追補における、電子天秤の新しい要求事項について」

J A I M A 質量測定分科会 加藤 洋 先生

(2)「医薬品等の承認審査等に関する話題」

滋賀県健康医療福祉部薬務課

■ 開催方法

オンライン開催 (Zoom によるウェビナー形式となります)

インターネット接続にて、Zoom へのアクセスができるスマホやパソコン、タブレット等で参加いただけます。

また、薬業技術振興センターでも参加可能です。(最大10名程度)

■ 受講対象者

県内の製薬等企業の方

■ 申込み方法と申込み期限等

(1) 申込み方法

下記、しがネット受付サービスのURLまたは二次元バーコードからお申し込みください。

URL :

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure/0389156231057788207>

二次元バーコード :



なお、システムの関係上、参加端末毎に申し込みが必要なため、1回の申込みで複数端末の申込みはできません。複数の端末から聴講される場合は、個々に申込をお願いします。

また、メールアドレス入力の際は、入力間違いがないか十分に御確認下さい。

(2) 申込み期限

令和6年3月8日(金)(期間厳守)

(3) 参加方法

WEB参加の方には、3月13日(水)までに当センターから申込フォームに記入されたメールあてにセミナーの接続情報をメールで送信いたします。

開催日当日は、この接続情報からご参加ください。接続情報に併せて、当日の資料も送付いたします。

(会場参加の方は、当日、当センターまでお越しください。)

〒520-3433 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場 700-1 滋賀県薬業技術振興センター (担当：舟山)

電話(0748)88-2122/E-mail : eh0001@pref.shiga.lg.jp